

「小中連携」授業公開・意見交換会

6月19日（木）、相原小学校において「小中連携の推進」の取組として小山ヶ丘小学校・相原小学校・堺中学校の教職員が一堂に会しました。

相原小学校による授業公開後には3校の教職員がアリーナに集まり、教科ごとのグループに分かれて授業を参観した感想を交流したり、中学校への接続にあたって大切にすべきことを話し合ったりすることで、小学校と中学校が手を取り合って目指すべき教育の在り方について共通理解を図ることができました。



上の写真は、社会科グループの意見交換の様子です。3校の教員が授業づくりに対する熱い想いを述べ合う中で、他校の課題や取組について知ることができたとともに、小山ヶ丘小独自の授業づくりの良さを再確認する良い機会ともなりました。

【グループごとの意見交換会で出された意見の一部】

- ・ 中学校の社会科は覚えなければならないことが増えるので、苦手意識をもつ生徒が少なくない。だからこそ、小山ヶ丘小学校では「楽しい社会科授業」を目指し、日々教材研究に取り組んでいる。今後も、一人でも多くの「社会科好き」を中学校に送り出せるよう授業づくりに励みます。
- ・ 堺中学校の生徒たちは、入学してくる時点で「調べる力」が身に付いている生徒が多い。小学校段階でしっかりと力を培ってくださっているおかげだと思います。
- ・ 小山ヶ丘地域は相原地域に比べて歴史が浅く、伝統行事が少ない。教員みんなで知恵を絞り、これからの小山ヶ丘の伝統となっていくような活動を考え、総合的な学習の時間の年間計画に組み込んでいきます。（絶賛作成中）

小中連携の取組が再開されて2年目。子どもたちにより良い教育を提供することができるよう、今後も様々な場面で3校の繋がりを深めていきたいと考えています。

～6月の校内研究授業の様子～

本校は今年度より町田市の研究指定校に指定され、「心身ともにたくましい児童の育成～楽しい・できた・わかったを実感できる、しかけのある体育学習を目指して～」という研究主題のもと、体育の授業の研究を進めています。

6月18日（水）には、最初の研究授業が行われました。内容は6年生の「体の動きを高める運動」です。今回の授業では主に、動きの柔軟性を高めるために「ストレッチ」、動きの巧緻性を高めるために「バンブーステップ」に取り組みました。特にバンブーステップでは、基本の動きに子どもたち自らが様々な動きの工夫をプラスしていくことで動きの高まりを感じられる授業を目指しました。その結果、教師から指示された動きではなく、自分たちで選択した動きに取り組むことで、より一層楽しさを感じながら運動する姿が印象的でした。

